



北条中 学校だより  
令和6年度 第6号

よし かせ  
**芳風**

校 訓：質実 自治 奉仕

教育目標：自由の相互承認

わたしの自由も大切にする  
あなたの自由も大切にする

保護者配付 令和6年10月 1日

地域回覧 令和6年10月 4日

## 「挑突猛新」の体育祭が終わりました

9月14日（土）に令和6年度の体育祭を行いました。前々日の木曜日のリハーサルは雨天の影響で、室内での最終調整でした。当日は、日光が肌を強烈に刺激するほどの暑さで、運動をするにはやや厳しい条件でした。そのような中、多くのご来賓、保護者、地域の皆様からご来場いただき、たくさんの声援と拍手の中、すべての競技を無事に終えることができました。2つのハードルがあり、1つ目は飛び越えて、2つ目はくぐるという障害物の後、借り物をする「新」形式の障害物レースでは、借り人になろうと、多くの皆さんが中央テント裏に自然と集まって、借りられることを楽しんでくださる様子がありました。感染症下では、なかなか人との接触ができないこともあったことが、忘れられるかのような様子でした。今後も、様々な活動で多くの皆様からのご支援を賜りたいと思います。



まもなく、令和6年度の活動の半分が終わります。

後期が始まってまもなくの10月19日（土）には、玲瓏祭を予定しています。

令和6年度の玲瓏祭スローガンは、

### 「五線譜上の感動～Let's have fun!～」

このスローガンに込められた思いとしては、五線譜とは、音符が書いてある五本線のことです。その五本線の上にある音符、それは、私たち一人一人でもあり、今年はクラス合唱でそれぞれの学級らしきのあるメロディーを奏でて、みんなに感動を与えたいという思いが込められています。

「Let's have fun!」では、合唱部門の感動だけでなく、パフォーマンス部門も合わせて、みんなが楽しめる玲瓏祭にしたいという思いから考えました。

以上の二つの想いを込めて、このスローガンを考えました。（生徒集会での説明より）

### ★活躍の足跡★

【柏刈新人球技大会】 9月25日（水）

- ・野球 柏崎東部(北条中・神中・東中・第五中) 0-2 柏崎北部 惜敗 第3位
- ・バスケットボール 北条中・東中 82-15 鏡が沖中・柏崎翔洋中等 第1位

9月19日（木）に予定されていた柏刈駅伝競走大会は、豪雨の影響で中止となりました。

## 10月の主な予定

月	火	水	木	金	土	日
	1 3年生上級 学校訪問	2	3 新人柔道大会 小6部活動体験	4 2学年PTA 親子レク	5 夏渡 草刈り	6
7	8	9 職業講話①	10 PTA本部役員会	11 前期終業式	12 スクールバンド 合同演奏会	13
14 スポーツの日	15 後期始業式 預り金引き落とし日	16	17 全校集会 生徒集会	18 玲瓏祭りハーサル、 前日準備	19 玲瓏祭	20 北条コミセンまつり
21 振替休業日	22 預り金引き落とし 予備日	23 職業講話②	24	25 3年確認テスト	26	27
28 専門委員会 小中合同挨拶運動	29	30 市教委訪問	31 小中合同学校 保健委員会	11/1	2	3

1月1日の地震で壊れていた生徒玄関前の側溝付近でしたが、8月終わりに修復工事が終了し、きれいな状態に戻りました。ご来校のたびに、心配していただきました保護者、地域の皆様にご報告いたします。



### ■「クエスト」で魅力発信CM制作■

総合的な学習の時間に全校で北条地域の魅力発信のためのCMづくりを行います。全校生徒が班に分かれ、それぞれのテーマのもと、伝えたいことを話し合い、検討し、地域に出掛けて取材を行います。最終的に各自が15秒のCM制作を目指します。

「15秒CM」が最終ゴールになりますが、北条の魅力の再発見、人に伝えるために工夫すべきことなどを学びながら、創造性を養っていくことをねらいとしています。

9月20日にプロの方から、CMを作る上でのコツや留意すべきことを学びました。公に放送するという事は、著作権、肖像権など法律に基づく必要があることなど専門的な知識も教えていただきました。

子どもたちの活動の様子をNCT（エヌ・シー・ティー）が取材し、完成した代表CM1編とともに活動の様子が編集され、実際に放送される予定です。放送は、NCTの契約をしている方のみが視聴できると聞いています。あらかじめご了承ください。

### ■敵の「テキ」は音読み！？■

新人大会の表彰が行われた9月26日の全校集会に向けて、話をする材料を調べていたところ、敵をテキと読むのが音読みと知りました。その時までは、多分、訓読みだと思っていました。多分、というのは、そんなことをわざわざ考えなくとも当然訓読みだろうくらいの意識でした。全校集会で聞いてみると、半数の子どもたちも（職員の一部も）同様の認識があったようです。敵の文字に送り仮名の「う」をつけて、敵うが「かなう」と読むことを知ったのは、十数年前に、ある小説に「敵わない」という表記を見つけたときでした。今回、この調べ活動から派生して、敵、適、滴、摘に使われている“つくり”の部分に共通する意味も見つけました。

話の最後は、いろいろなことが叶えやすいと言われる「〇〇の秋」、あなたは今、叶えたいことのために何をしますか、と締めくくりました。（校長）